

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

睦月 月次祭挨拶

こんにちは。

睦月の月次祭に参拝して頂き誠にありがとうございます。この後、十三時半より入学祈願祭を執り行いますが、申込を忘れた方は、日直が駐在して居るときは祈願をいたしますので気軽に申し込みして下さい。

皆様については、人型活動の最中^{さなか}で新型コロナウイルス^{まんえん}が蔓延^{まんえん}して現在は大変な時期になっています。ご苦勞様です。新年祭ではお茶席・直会とやっと元の姿に戻ろうとした矢先で大変ガツクリしています。直会まで祭典という決まりが二週間の間で愛知県だけで千四百人がコロナウイルス^{きょううきよ}に感染^{きょううきよ}され急遽、一月月次祭の直会^{きょううきよ}は中止とさせていただきます。

二月からは、おにぎりに香の物で、席はバラバラで食べていただくかまたは持つて帰られるか直心会の方達と相談して何らかの対応をしていきたいと思っています。

今年は早速一月二十二・二十三日と名古屋分苑にて東海教区の方々を対象に教本三級認定講習会を開催いたします。お陰様で講習希望者が全体で十二名ありました。講習中は換気に注意して密にならないように間隔を広げて楽しく講習を受講していただきます。

人型活動の時期なので2月一日火曜日・三日木曜日は分苑は日直者を駐在します。三日の人型受付は午前十時で受け付けを閉めますので、それまでに分苑に届くように宜しくお願い致します。

十時に終了してその人型と古いお札を持つて綾部に行かせていただきます。預かり

玉串も持参いたしますので事務所に三宝を用意してあります。

三日に名古屋分苑で節分大祭遙拝祭を十五時から行いますので参拝も宜しくお願い致します。

二月の月始祭終了後に令和三年度の会計監査をしていただきます。その結果をもって二月二十日の月次祭終了後、総代会を行います。事務所の棚に総代会の案内を入れていますので宜しくお願い致します。

皆様方の健康は皆様たち個人で管理して頂きまして、これからの分苑行事に参加していただくように祈念いたします。

本日の参拝誠にありがとうございます。どうぞごさいまし

※一月二十二・二十三日の教本三級認定講習会はコロナ感染防止のため中止となりました。



行事報告

● 新年祭

一月一日（土）

参拝者	四十三名
斎主	高嶋 善雄
祭員	妹尾 正治
祭員	日比 達朗
祭員	影近 博己
典礼	小林 清人
裏方	畠山 茂
伶人	飯田 直美
伶人	岡田 幸子
進行	五十川 松子

● 月次祭

一月十六日（日）

参拝者	二十八名
斎主	高嶋 善雄
祭員	近藤 哲史
祭員	堀 健太郎
祭員	日比 達朗
祭員	影近 博己
祭員	小佐々 昌
典礼	小林 清人
裏方	青山 将士
伶人	飯田 直美
伶人	長谷川 美枝
伶人	佐古 美鈴
進行	伊藤 久仁男

併せて、成人式祝詞が奏上された。新成人の皆様おめでとうございませう。

新成人

弥富支部 加祥 杏也那





行事予定

二月二十日（日）

月次祭 午前十時半より

総代会（令和三年度決算報告）

三月五日（土）

月始祭 午後一時半より

日直連絡会議

祭務部会議、直心会総会

※二月二十六・二十七日の東海サミットはコロナ感染防止のため中止となりました。

「プラスの気が増えると免疫力が上がり、減ると病気になる」

古来、「病は気から」という言葉があります。

気とは何でしょうか。例えば、自分がちよつと落ち込んでいる時のことを想像してください。やる気が出ない、生きる気力がない、その気にならない、こんなふうな「気」が登場しますね。

気というのは「生命の源」です。血液と違って日には見えませんが、全身を駆け巡るエネルギーであり、常に私たちの体を出入りにしています。

気は自然界に普通にあるものです。気を取り入れる力が上がるといろいろなことに取り組む力が湧き、気を取り入れる力が下がると病気になることがあります。

気はその場面ごとにいろいろな言葉に変化します。意欲とか生命力とも呼ばれますし、西洋ではスピリットとかブラーナと呼ばれることもあります。気という言葉には、欧米人には理解しにくい日本人特有のニュアンスがあります。彼らが学んできた西洋医学の範疇の外にあるからでしょうか、海外の研究者たちが来日して気功を学ぶとか、気のエネルギーを研究する日本の学者とコラボレーションする話をよく耳にします。

実は日本以上に、欧米では気についての研究が盛んです。ひょつとしたら、「Kawaii」（かわいい）という言葉と並んで、「Ki」という言葉が海外で当然のように使われる日がやって来るかもしれません。

気軽で自在なイメージを持つ気ですが、私たちは気をうまく使いこなすことが必要です。なぜなら、気は生命エネルギーである以上、その人の感情を大きく左右するからです。

気というのはその時の状況で、プラス（正・陽）になったりマイナス（邪・陰）になったりします。常にどちらか一方であることはいけません。

気分という言葉は「気を分ける」と書きます。まさにプラスとマイナスの気が分かれて、プラスが多ければ気分がいいし、マイナスが多ければ気分が悪くなります。

病気は「病の気」と書きますが、これはマイナスの気が多い状態です。だからこそプラスの気の割合を増やし、免疫力を高めることが重要です。病気は自分の内側との対話です。対話の過程でどちらの気を増やすかは、自分次第なのです。

矢作直樹『おかげさまで生きる』より

言葉の力 その③

特任宣伝使 妹尾 正治

皆さん、ユーモアは好きですか？ 大本の話に笑いは必要ないと思っている人が有ったら、それは時代遅れです！ ユーモアは消化薬です、堅い話をしてそのままでは聞く人は消化不良を起こします、かといってユーモアだけでは、場末の演芸場になってしまいます。

皆さんは松竹新喜劇をご覧になった事がありますか？ 当時は毎週「松竹新喜劇」の舞台がテレビで流れていました。チョット間が抜けた丁稚役の藤山寛美さんがさんざん笑いの渦を巻き起こすのですが、終幕が近づくと世間の不義理をたしなめ、愛と人情の温か味を説教し始めます、その頃私の涙腺はだらしく緩み、涙と笑いで（どんな顔をしていたのかな）クシャクシャになっていたのを思い出します、笑いの中で「道徳」の授業を受けていたのかも知れません。その道徳ですが『因果応報』と云う四字熟語を紐解くと、良い事をすればより良い事を招き、悪い事をすれば何時か悪い事が身に降懸かると云う意味になります、歴代教主様も「善言美詞・善行」の大切さを常々説いて下さっています。

『因果応報』をユーモアを足して易しく語るとこうなります。

『ある日ご主人は会社で面白くない事が有り、家に帰って奥さんに当たり散らかします、奥さんはどうして旦那からそんなことを聞かされなくてはいけないの？ とムカムカして飼った猫を蹴飛ばしました、猫はたまったものじゃないと、ネズミを見つけて追い回します、散々いじめにあったネズミは八つ当たりで主人のネクタイをかじってやりました』めでたしめでたし！